

### Ⅲ 学校給食

#### 1. 学校給食の推進

##### 【重点方針】

(1) 栄養の改善及び健康の増進

学校給食を通して、児童生徒の生涯を通じた健康づくりの基礎を培い、正しい生活習慣の形成を図り、心身ともに健康な人間の育成を目指す重要な教育活動の一環として学校給食を実施します。

(2) 衛生管理の徹底

国の「学校給食衛生管理の基準」に基づく衛生管理を徹底し、安全で安心な学校給食を提供します。

(3) 『食育』の推進

「食育基本法」「学校給食法」に基づき、学校給食を食に関する指導の生きた教材として活用します。

(4) 地場産物の活用

作り手の顔が見える食の提供、地元産品の消費拡大を目的に可能な限り地産地消に努めます。また、地元食材の活用を積極的に推進することで市民の食に対する関心を高めます。

##### 【推進施策】

(1) 学校給食の内容の充実

- ① 魅力ある献立の工夫
- ② 給食食材の安全性の確保
- ③ 食物アレルギー対応マニュアルに基づく対応
- ④ 国内産農産物の利用拡大

(2) 学校給食における衛生管理の徹底及び食中毒の発生防止

- ① 施設設備の安全性の確保
- ② 調理等従事者の衛生管理の意識向上及び徹底
- ③ 調理等従事者の研修の拡充

(3) 食に関する指導の充実

- ① 栄養教諭及び学校栄養職員の授業への参画
- ② 湯沢市食育推進計画を踏まえ、「食に関する年間指導計画」に基づいた組織的かつ計画的な食育の推進
- ③ 地域の風土や伝統に根ざした食文化の継承を目的とした指導
- ④ 学校給食試食会や給食だより等を活用した保護者との連携

(4) 地場産物の活用

- ① 地場産物食材の積極使用で、安全・安心な給食の保持と消費を促進
- ② 地場産物購入ルートの確立
- ③ 米飯給食の推進及び米加工食材の導入促進
- ④ 郷土料理を取り入れた「ふるさと献立」の実施

- (5) 学校給食センターの適正な管理運営
  - ① 事務部門、調理部門、配送部門の適正な運営
  - ② 栄養士業務における職務分担の実施
  - ③ 適正な食材発注
  - ④ 学校給食費未納の早期解消

## 2. 給食施設設置状況

### ○ 学校給食センター

共同調理場	位 置	構 造	敷地面積	建物延面積	建築年度
湯 沢	湯沢市岩崎字狐崎 8-1	鉄骨一部2階建	14,302 m <sup>2</sup>	2,741 m <sup>2</sup>	H27~28
皆 瀬	湯沢市皆瀬字下菅生 27	鉄筋コンクリート平屋建	199 m <sup>2</sup>	199 m <sup>2</sup>	H17

### ・給食センター給食人員(R1.5.1現在)

小学校	給食人員			中学校	給食人員		
	児童(人)	教職員(人)	計(人)		生徒(人)	教職員(人)	計(人)
湯沢東	465	36	501	湯沢北	219	30	249
湯沢西	394	38	432	山 田	49	16	65
三 関	62	12	74	湯沢南	290	33	323
山 田	127	17	144	稲 川	167	26	193
須 川	57	12	69	雄 勝	121	18	139
稲 庭	50	15	65	皆 瀬	52	12	64
三 梨	50	13	63	計	898	135	1,033
川 連	100	14	114				
駒 形	68	13	81	共同調理場	給食人員		
雄 勝	199	22	221			職員(人)	計(人)
皆 瀬	87	14	101	湯 沢		52	52
計	1,659	206	1,865	皆 瀬		6	6
				計		58	58
児童生徒計 2,557人			教職員計 341人		給食センター職員計 58人		合計 2,956人

秋田県立稲川支援学校	小学部	23		
	中・高等部	57	58	138

### ・給食費

区 分	1食当たり給食費	給食費月額	給食費徴収月数
小 学 校	250円	5,000円	9ヶ月 (最初の月5月)
中 学 校	290円	5,800円	9ヶ月 (最初の月5月)

### ・1週間の給食形態

区 分	米飯	パン	麺
回 数	4回(月・火・木・金)	0.5回(水)	0.5回(水)